

# PTA 広報 大河あか

第152号

平成29年7月18日発行  
高岡市PTA連絡協議会

会長 中村 総一郎  
広報委員長 山村 純次

事務局：高岡市教育委員会  
生涯学習・文化財課内  
TEL (0766) 20-1227

博労  
小学校



伏木  
小学校



藤井能三顕彰祭

御車山を知ろう



伏木  
中学校

太田  
小学校

100万人のゴミ拾い



絵本読み聞かせ

平米  
小学校



おおとりの舞

定塚  
小学校



お花見ランチ

南星  
中学校



花いっぱいの学校づくり

もくじ

市PT連活動紹介

P2・3

特集 「親が語る子供たちの未来」 P4・5

シリーズ 各学校PTA紹介 P6・7

★伏木中学校 ★伏木小学校  
★太田小学校 ★古府小学校

## ご挨拶

高岡市PTA連絡協議会 会長 中村 総一郎

日頃より、高岡市PTA連絡協議会の活動にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。本年より、市PTAのお世話をさせていただることになりました中村総一郎と申します。会員の皆様の、お役に立つ市PTAの活動を進めて参りたいと思いまので、変わらぬお力添えを、よろしくお願ひ申し上げます。



さて、皆さんは「PTAの効能」をご存じですか？自己紹介代わりに、私のつたない経験から、3つほどご紹介申し上げます。

- ①子供に幸せになってほしいけど、どう接していいか分からず。PTAに参加すれば、生きたお手本に出会える。あまけに友達にもなれて楽しい。
- ②多くの先生と接する機会が増えて、話しやすくなる。何となく心強い。
- ③活動後は、子供たちの役に立てた気がして嬉しい。

といったところでしようか。

「子は親の言うようにはならず、親のするようになる」と言います。

私たち保護者が、PTAで（もちろん家庭で、職場で）「誰かのお役に立って、活き活きとした姿でいる」ことが「子供が未来に希望をもつ」無言のメッセージになるのではと感じています。

本年度、市PTAでは、単位PTAの応援団に徹し、次の3本柱で取り組んで参ります。

- ① 保護者、子供たち、先生方のリクエストを、行政に届ける（提言）
- ② 参加してよかった！と思ってもらえる講座の開催
- ③ 各学校の良い活動を紹介する（自慢し合う）広報紙の発行

高岡は「保護者、先生、大人たちが元気だから、子供たちも元気で幸せそう！」そんな光景を夢見ています。本年も、PTAの事業に積極的にご参加賜り、「人のお役に立つことで感じられる幸せ」を大事な子供たちに伝えて参りましょう。皆様の温かいお力添えを、よろしくお願ひ申し上げます！

## 役員紹介

高岡市PTA連絡協議会

Introduction

会長	中村 総一郎 (高陵中PTA) 《総括》	副会長	松本 武司 (戸出西部小PTA) 《涉外》
副会長	野村 匠一 (南星中PTA) 《運営専務》	副会長	岡野 譲樹 (中田小PTA) 《小学校部会》
副会長	佐伯 浩子 (牧野中PTA) 《女性統括》	副会長	深原 隆寛 (牧野中PTA) 《中学校部会》
副会長	高橋 伸忠 (福岡中PTA) 《総務》	副会長	藤田 高豊 (小学校長会長・野村小)
副会長	勝山 なおこ (成美小PTA) 《給食・保健》	副会長	西村 和人 (中学校長会長・芳野中)
副会長	駒井 俊彦 (志貴野中PTA) 《家庭教育》	総務委員長	浦野征一郎 (万葉小PTA)
副会長	川端 徹也 (博労小PTA) 《教育環境》	給食・保健委員長	塚本 和勝 (千鳥丘小PTA)
副会長	前田伊和男 (志貴野中PTA) 《広報》	家庭教育委員長	野嶽 昌士 (戸出東部小PTA)
副会長	中山 真紀 (福岡小PTA) 《涉外》	教育環境委員長	中川 佳美 (牧野中PTA)
副会長	伊藤 宗寛 (定塚小PTA) 《涉外》	広報委員長	山村 純次 (国吉小育成会)
副会長	鍋嶋 範和 (定塚小PTA) 《涉外》	監事	吉田健太郎 (志貴野中PTA)
副会長	木間 幸雄 (高陵中PTA) 《涉外》	監事	鳥山 三伸 (志貴野中PTA)
副会長	宮田 淳也 (横田小PTA) 《涉外》	顧問	本江 学 (下関小PTA)
副会長	北林 和正 (下関小PTA) 《涉外》	アドバイザー	高戸 勇
副会長	仁岸 宣彦 (古府小育成会) 《涉外》	アドバイザー	大橋 仁美

語  
る  
う

子  
供  
た  
ち  
の  
未  
来

大  
人  
た  
ち  
の  
思  
い

## 総務委員会

委員長  
浦野 征一郎

当委員会には2つの役割があります。1つ目は会議体・事業の円滑な運営のための事前準備と設えを担うこと、2つ目は学校・単位PTAの皆様の生の声を詳しく拾い上げて、行政に届けるとともに、その情報を基に単位PTAを繋げる工夫をし、各々が有意義な活動を展開される一助になることです。1年間、ご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。

## 家庭教育委員会

委員長  
野嶽 昌士

戸出東部小学校から出向させていただいてあります野嶽（のだけ）と申します。今年度におきましては、親子（家族）のコミュニケーション力向上を目指した取り組みを継続的に行ってまいります。事業実施に際しましてはPTA会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしています。一年間私自身、委員会メンバーさんと一緒に学ばせて頂く姿勢で取り組みたいと存じますのでどうかよろしくお願ひいたします。

## 広報委員会

委員長  
山村 紘次

今年度の特集のテーマは「語ろう、子供たちの未来」です。普段は照れてしまい面と向かって言えないような、子供たちに幸せになつてほしいという「大人たちの思い」。保護者はもちろん、学校や地域の皆様のそんな思いや夢や悩みを共有し、それが高岡の子供たちの幸せにつながればいいな、という想いで特集記事に取り組みます。また、メンバーが一丸となり、楽しく読みやすい紙面づくりを目指しますので、皆様のご理解とご協力を願います。

高岡市PTA連絡協議会  
役員です。

平成29年度



どうぞよろしくお願ひいたします

## 給食・保健委員会

委員長  
塚本 和勝

「高岡市学校給食会」って知っていますか？子供たちが安心して給食を口にするために、献立の研究、施設や業者の衛生指導、物資の品質選定と購入業者の衛生指導などを行っています。皆さんに安心・安全が見える様、各委員会で「見た」「聞いた」「感じた」情報のフィードバックに努めてまいります。食材や調理法など幅広い「食」に関する皆さんの関心事、そして、子供たちの心と体の健康に関する情報を少しでも皆さんにお届け出来る様活動してまいります。皆様のご理解とご協力、また、ご意見の程、よろしくお願ひ致します。

## 教育環境委員会

委員長  
中川 佳美

教育環境委員会では、子供たちを取り巻く教育環境の中で特に携帯電話やインターネットをめぐる問題を認識し、安心・安全な教育環境構築に向けた情報収集・アンケート調査を行います。そこで、委員会が家庭・地域・学校が提携して出来る最適な教育環境の整備・改善に向けて研修会の開催や情報を発信していきます。一年間、皆様のご協力をよろしくお願ひ上げます。

**伝統産業の大切さを学ぶ**

高陵中学校の今年度の創立記念式で、高岡の伝統産業を題材とした映画「デンサン」を全校生徒が見ました。この映画は、高岡出身の映画監督である金森正晃さんが、高岡の伝統産業である鋳物作りを通じて、伝統と革新をテーマに作成した映画です。

映画の上映前に金森監督に基調講演をして頂きましたが、高岡という町の興りや、伝統産業の成り立ち、そもそも伝統とは何か、革新とは何か、など監督の熱い思いを語って頂きました。生徒たちも、真剣に講演を聞き、そして興味深げに映画を見ていました。

**高陵中**

## 特集 親が語る 子供たちの 未来

**まとめ**

校下の特色ある行事や催しなどを通じ、子供たちへの思いを語ってもらいました。「挑戦」「活躍」「未来への希望」「歴史文化と自然」「守り続けてほしい伝承」といったキーワードが出てきましたが、根底には「子供たちの未来のため」という思いが伝わってきました。次号では、大人たちの悩みについてもとりあげたいと思います。

**定塚小****古城公園でお花見ランチ**

桜満開の頃、定塚小学校では、高岡市の史跡である古城公園内の本丸広場でお花見ランチを行います。入学間もない1年生は6年生に手を引かれ、小学校から古城公園までの道のりと一緒に歩きます。古城公園では、思い思いのグループになってお弁当ランチを食べます。普段の学校の雰囲気とは異なり、いつも以上に給食をおいしく感じるのではないかでしょうか。食べ終えると古城公園内を散策し、歴史・文化や園内物園を見学したり、学校生活の色々なことを教えてもらった事です。

子供たちには、この素晴らしい歴史・文化をいつも身近に感じながら、将来の夢実現に向かってまい進してほしいものです。

**南星中****14歳の挑戦**

正式には「職場体験学習事業」という名称で、「富山県独自の取り組み」です。

中学2年生が、5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加し、規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けます。

中学2年生にとっては、まさに「挑戦」の5日間。略称を「14歳の挑戦」としたセンスの良さに脱帽です。

南星中学校では、2学年の生徒たちが44事業所にお世話になっています。また、PTA2学年委員会で各事業所を巡回し、子供たちの「働く姿」「挑戦する姿」を見守っています。

生徒たちは、学校から離れ慣れない作業にもかかわらず、イキイキとしていて、カメラを向けると笑顔でこたえる素敵なお表情が印象的です。

この経験をもとに、未来への「挑戦」を続けて欲しいと願っております。

**木津小****登坂先輩に続け！**

リオデジャネイロオリンピック2016で当校出身の登坂絵莉さんが金メダルを獲得されました。オリンピック当日には体育館で「パブリックビューイング」、その後、登坂選手を招いて「金メダルおめでとう」感動をありがとう集会を行ない、子供たちそして我々保護者も、おおきな夢と感動を与えてもらいました。子供たちにとっては、今後的人生において大変励みになったことだと思います。

いつまでも当時の感動を忘れないよう、今年5月の運動会では、5、6年生が「登坂先輩に続け！目指せ金メダル」と題し、オリンピック金メダル獲得に因んだ競技が行われております。子供たちは自分が金メダリストになったつもりで、金メダルを取って嬉しい言葉や、表彰台でのポージング、サイン等の競技内容を一生懸命頑張ってくれました。

今後、子供たちは、中学、高校と進学し、社会に出てから様々な分野で活躍してくれる事だと思います。その際には登坂選手の様に、周りの人々に夢と感動を与える事が出来る人に成長して欲しいと思います。

**獅子舞の伝承**

平米小学校には、昭和47年以降45年間に渡り、子供たちの手によって伝承されている獅子舞があります。創校60周年の節目に、地元青年団から受継ぎ、今なお、5年生の役割として大切に守り続けられています。

また、校下内では4月～10月の第2第4日曜日に、37年間続く「たかおか朝市」が開催され、朝の風物詩として地域の方々の大切なコミュニケーションの場にもなっています。17前から、この朝市のオープニングセレモニーの場が、獅子舞を伝承した新5年生の初舞台となっており、今では家族のみならず、地域の方々も楽しみにしている恒例行事となっています。

いつか未来の日に、大人になった子供たちが、わが子が舞う姿に目を細めるその日まで、どちらも大切に守り続けてほしい行事です。

**平米小****南条小****南条のスマイルさん**

南条小学校では、毎年、3年生が総合的な学習の時間に自分の住んでいる地域の名人や達人の方を「南条のスマイルさん」としてインタビューをしたり、名人や達人の技やつくったものを見せていただいたりしています。

その後、子供たちは分かったことをまとめ、低学年の子供たちや保護者の方にクイズ等を交えて紹介しています。

スマイルさん探しは、子供たちの学習であるとともに保護者にとっても地域のことを知るとてもよい機会です。近所付き合いが希薄になってきている今、スマイルさん探しは、子供たちも保護者も地域の方も、お互いに関心や関わりをもつきっかけとなっていると感じます。

スマイルさんたちは、子供たちの訪問を温かく迎えて、多くのことを教えてくださいます。いきいきと輝く大人との交流が、子供たちの心にいつまでも残り未来への希望につながることを期待しています。



## 紹介



## 伏木地区の自然と歴史を感じる

伏木中学校PTA会長 金田 健一

伏木中学校は、高岡市の最北端に位置し、北に富山湾、南西に二上山、東に小矢部川があり、豊かな自然に囲まれた場所です。

この場所を代表する行事が、毎年伏木港まつりの期間に、伏木港左岸の万葉大橋のたもとで開催される「港と弓の祭典」です。

平成17年から開催されているこの祭典は、PTA及び地域の方々の協力で準備し、伏木中学校弓道部員をはじめ高校生や高岡市弓道連盟、高岡支部や富山支部の弓道部エキスパートの方々が参加されています。

伏木地区は「奥州に落ちのびる源義経が如意の渡しに乗ろうとしたとき、渡守の平権守に義経ではないかと怪しまれるが、弁慶が扇で義経を打ちすえるという機転で無事に乗舟できた」という話のゆかりの地です。同じく義経に関わりのある那須与一が扇の的を射るという設定で、30m先の船上にある扇の的に向かって一人2本矢を放ちます。的の大きさが普段練習で使う的の3倍ありますが、高さがいつもよりも高く、船の上で揺れることと風の影響で矢が流されることにより狙いをつけることが難しいです。普段弓道場では感じることができない自然と歴史を感じる時間です。

## 藤井能三顕彰祭・能三祭

伏木小学校育友会会長 坂野上 満

本校は富山県で最初に設立された公立小学校として知られていますが、誰が創立されたかご存知でしょうか？藤井能三（ふじい・のうそう）先生です。

先生は開国間もないこの時期に、諸外国とつながっている港を持つ伏木の地に次代を担う子供たちの学び舎を寺子屋とは違う形で造ろうと、明治6年（1873年）2月16日に伏木本町の自宅に本校を創立なさったそうです。

私財を投じて東京から先生方を招き、当時としては珍しい地球儀を使った授業や英語の授業なども行ってあられたようです。

このように先見の明をもち、伏木の近代化に尽力された藤井能三先生の命日である4月20日に本校では先生の顕彰祭と能三祭を毎年開催しています。今年は高橋市長と曾田市議会議長をお招きし、本校体育館にて盛大に執り行われ、先生のご功績を偲びました。



## 最高の笑顔のやるキッズ！

太田小学校PTA会長 山崎 育穂

太田小学校は、明治6年に開校し、市内で3番目に古い小学校です。今年で144年目を迎え、卒業生は5,907人を数えます。

現在の全校児童数は、新1年生15名を含む78名となっています。太田地区は、土地改良区域に指定されており、人の転入が難しい地域で年々児童数の減少が進んでいます。

北部には、万葉の歌人、大伴家持が愛した有磯海（雨晴海岸）があり、また、南部には、校歌にも歌われている大師ヶ岳がそびえ立っています。桜谷古墳群、国泰寺や武田家、更に義経伝説、もみじ姫伝説など、歴史と自然に囲まれ、伸び伸びと学ぶ環境が整っています。

そして、家庭、学校、地域の三位一体で子供たちを見守り育てながら、PTAに関わる保護者が子育てを通して、親としても共に成長することを目指しています。

他にはない取り組みとしては、春：国泰寺において、花と子供と筍祭り、夏：日の出会、朝4時雨晴海岸に集合し海岸清掃と海から昇る日の出を見る会。冬：雨晴海岸での左義長などがあります。

今年の児童会スローガンは、最高の笑顔でやるキッズ！心一つにやり抜きます。

我々PTAは、何が来ようが、前向きで、笑顔絶やさず楽しめます！



# 太田小学校PTA

がんばって  
いきます！

シリーズ

## 単P

### 桜と共に見守る育成会

古府小学校育成会会長 仁岸 宣彦



子供たちを見守るように、104本の桜が校庭に並ぶ古府小学校。木々達にならうように、古府小学校 育成会も子供たちを見守り、バックアップする活動を続けています。他校のPTAと比べると、かなり裏方のような活動ばかりですが、むしろそれこそが古府小学校育成会の特色、本来のPTAの姿と言えると考えています。

執行部役員はもちろん、各委員会の委員さんまで全員協力であらゆるイベントのお手伝いを率先してやるその姿勢は、常々頭の下がる思いです。

あえて「強制参加」という縛りを無くすることで、むしろ参加率が高まり、そこには笑顔があふれています。

大人が笑顔であれば、それを見て育つ子供たちはきっといい笑顔ができるようになる。人を笑顔にできるということが、「しっかりと生きている」ということ。

活動を通じて子供たちにメッセージを伝える。それが我々、古府小学校育成会です。

# 古府小学校育成会

## 平成29年度 高岡市PTA連絡協議会総会開催

5月19日(金) ホテルニューオータニ高岡において、高岡市教育長 米谷和也様ご臨席のもと、本年度総会が開催されました。

総会では、本年度の事業計画と新役員のご承認を頂き、平成29年度の新たなスタートを切ることができました。その後、各小中学校PTAの個人・団体でご活躍された方々に、感謝状や表彰状が贈呈されました。

総会終了後、高岡市PTA役員の歓送迎会が開催され、高岡市長 高橋正樹様、富山県PTA連合会副会長 水谷千万夫様、高岡市教育長 米谷和也様など来賓の方々から、PTA活動へ期待をこめたご挨拶を頂き、和やかな歓談のひと時を過ごしました。



### 平成28年度

#### 高岡市PTA連絡協議会表彰者

##### 高岡市PTA連絡協議会

- ◆感謝状 室 紀代子(平米小) 増本 幸俊(西条小)  
高野 裕史(芳野中) 高木 法子(芳野中)  
鶴瀬ゆかり(五位中) 専徒 英一(中田中)  
山崎真貴男(福岡中)

- ◆表彰状 各小中学校PTAより61名

##### 富山県PTA連合会

- ◆表彰状 鶴瀬ゆかり(五位中) 高木 法子(芳野中)  
(個人)
- ◆表彰状 高岡市立博労小学校PTA  
(団体) 高岡市立戸出中学校PTA

受賞おめでとう  
ございます

### 平成28年度

#### 富山県小中学校広報紙コンクール表彰校

##### 地区PTAの部 最優秀賞・高岡市PTA連絡協議会 『PTA広報たかおか』

##### 年3回以上発行の部

- 優秀賞・博労小PTA  
『博労』  
・戸出中PTA  
『といで』



##### 年2回発行の部

- 優良賞・定塚小PTA『ふるしろ』  
努力賞・五位中PTA『五位』  
・福岡中PTA『福樹』

## 会長・副会長研修会

6月12日(月) 高岡市役所8階会議室で会長・副会長研修会が開催されました。

高岡市教育委員会より、教育次長・学校教育課長 烏内禎久様、学校教育課 主幹 杉山智充様、総務課長 笹島永吉様をお招きし、平成28年度に提出した「要望書」に対し、市当局の回答を詳細にご説明いただきました。

また、意見交換会では、各小中学校PTA会長や高岡市P連執行部から様々な質問があり、それにに対する市当局の考え方を示していただきました。

本年度も前向きで活発な意見が飛び交い、大変有意義な会となりました。

### 要 望 事 項

#### 1. 个性が輝き、可能性が花開く教育環境の創造

- (1) 安全・安心な教育環境の整備
- (2) 情報化に対応した通信環境の整備
- (3) 特別支援教育の充実
- (4) 専科教育の拡充
- (5) 少人数指導の更なる充実

#### 2. 社会全体で人を育む絆の創造

- (1) 不登校・いじめ防止に向けた取り組み
- (2) 学校、家庭、地域が連携して行う児童生徒の健全育成

#### 3. うるおいと活気に満ちた学習機会の創造

- (1) 次代を担う子供たちを育てる環境づくり

#### 4. 誇りをもって夢を語れるふるさとの創造

- (1) 地域人材を活かした教育

#### 5. その他

- (1) 学校や通学路等の安全対策

### 広報たかおか第152号編集スタッフ

編集後記	副委員長	委員長	市P関連	編集長	特集	単P紹介	編集員
	廣瀬	山村	寺野	荒木	平下	清子	高岡
	中村	矢野	川尻	上	中村真理子	（高陵中）	（南星中）
	（中田小）	（博労小）	富所ゆかり	（古府小）	（木津小）	（定塚小）	（国吉小）
	（中田中）	（南星中）	石工	眞紀	（伏木中）	（南条小）	（南星中）
	（高陵中）	（博労小）	前田伊和男	純也	（太田少）	（太田少）	（國吉小）
	（中田小）	（南星中）					

本年度の特集テーマは「親が語る子供たちの未来」です。特集ページでは、登坂選手を招いた集会や四十五年間続く獅子舞など、子供たちに夢や希望を伝える行事や、未来に残したい伝統行事を取り上げました。各PTAが工夫をこらし子供たちの未来につなげる多彩な取り組みをご紹介しています。また、恒例の単P紹介ページでは、伏木・太田地域の四つの学校を紹介しています。古い歴史が刻まれた地域ならではの興味深い行事やエピソードを掲載しました。今号も、高岡市内の各小中学校PTAから、写真や紹介文などをたくさんいただきました。皆さんにこの場をお借りして、感謝申し上げます。